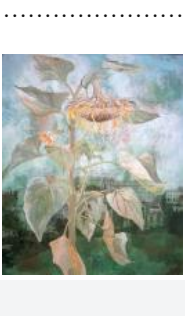
展覧会情報 : 宇津啓子展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-9-21 17:47:49 (3198 ヒット)

2007.10.9(火)～14(日)
11:00～18:00(最終日16:00)

………………………………………………
宇津啓子 画暦

1948年　松江に生まれる。
1971年　京都薬科大学卒業
1991年　絵画教室・朋で日本画を学ぶ
2004年　第１２回マスターズ大賞展入選
第２１回FUKUIサムホール美術展佳作
2005年　第１３回マスターズ大賞展入選
第５６回大津市美術展覧会入選
第２２回FUKUIサムホール美術展入賞
2006年　第５７回大津市美術展覧会佳作
第２３回FUKUIサムホール美術展入選
2007年　第２４回FUKUIサムホール美術展入選
………………………………………………



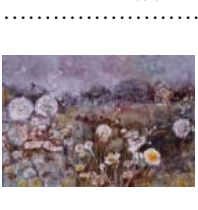
続き... | トラックバック・コメント (2)

展覧会情報 : 川口邦子　安田浩人　二人展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-9-14 22:11:55 (2731 ヒット)

-accent in life-
2007.9.25(火)～30(日)
11:00～17:30

………………………………………………
川口邦子　画暦
1943年 京都に生まれる
1992年 絵画教室・朋で日本画を学ぶ
1995年 朋展出品（以降毎回出品）　田中駒（滋賀）
1996年 女性作品展出品　　大津市生涯学習センター（滋賀）
1997年 第５回マスターズ大賞展入選
（以降第６回、第７回（賞候補）、第１１回) アートボックスギャラリー（東京）
1999年 第５３回滋賀県展入選（以降第54回,第55回,第57回,第60回）
滋賀県立近代美術館（滋賀）
2001年 第５３回創紀展出品（以降第５７回、第６０回） 京都市美術館別館（京都）
2007年 新春作品展出品 ギャラリー風の門（滋賀）
………………………………………………
………………………………………………
安田浩人　陶暦
昭和３７年　京都にて生まれる
昭和６３年 陶工職業訓練校 成形科卒業
平成 ２年　京都市工業試験場 陶磁器専修科研究科修了 西村徳泉工房に就職
平成 ３年　第１３回京焼清水焼展に「青白磁百合香爐」初出品 京都共栄銀行社長賞受賞
平成 ７年　西村徳泉工房より独立
平成 ９年　東京 大手町画廊にて個展
平成 １０年 '９８淡交ビエンナーレ茶道美術公募展に「截金彩 粟田蓋置
『—・｜・／（たて・よこ・ななめ）』入選
平成１１年　大丸京都店美術画廊にて個展　（以後三回開催）
平成１６年　青蓮院門跡　東伏見慈晃門主猊下　御用　中宮寺門跡　日野西光尊御前　御用
その他、各地にて個展開催
京都府より「京もの工芸品技術後継者」に認定
………………………………………………



続き... | トラックバック・コメント (1807)

シリーズ企画 : 「つなぐ みつめて いのち」　パート IV 山本 麻矢 展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-8-11 13:45:02 (2453 ヒット)

2007年9月11日(火)～23日(日)
12:00～19:00 (最終日は17:00まで)
18日(火)休廊

………………………………………………
９７歳まで生きた画家・熊谷守一は晩年、「今、何が望みか」と聞かれて
「別に望みというようなものはないが、しいて言えば『いのち』だろうか。
もっと生きたいことは生きたい」と答えたそうです。
守一は死の前年、９６歳で「眠り猫」という絵を描いています。
ほのぼのとした感じの絵です。
さてシリーズ第４弾は山本麻矢さんのネコの木彫作品です。どうぞご覧ください。

三橋 実
………………………………………………
………………………………………………
山本麻矢 / Maya Yamamoto

1969 9月27日 京都生まれ

1992 京都精華大学立体造形卒業
京都彫刻家協会会員
行動美術協会会員

1991 行動展入選（以降'92～'93、'96～'02入選）
1993 全関西行動美術展 新人賞
1996 京都彫刻家協会野外彫刻展 出品（京都府立植物園）
行動展奨励賞
1997～1998 宇治市野外彫刻展 招待出品（宇治市植物園・京都）
1997 行動美術協会新人選抜展 出品（紀伊国屋ギャラリー・東京）
行動展 京都府知事賞
石のさとフェスティバル彫刻コンクール 模型入選
1998 行動美術協会京都展 出品（山総美術・京都）
全関西行動展マルイ賞
宇治市民文化センター モニュメント制作
1999 京都彫刻家協会展 出品（京都府立文化芸術館・京都）/
（以降'01～'04、'06出品）
全関西行動展大賞・マルイ賞
行動展新人賞・会友推挙
2000　全関西行動美術展 出品（京都市美術館）／（以降'06迄出品）
行動展 奨励賞
2001　京都彫刻家協会展（京都府立文化芸術会館）
行動展 会友賞
［CRIA展］京都芸術センター
2002　行動展 行動美術賞
2003　行動展 会員推挙
2004　京都府美術工芸新鋭選抜展 （京都文化博物館）／（以降'06迄出品）
第51回全関西美術展　読売テレビ賞（大阪市美術館）
行動展出品（東京都美術館）／（以降毎年出品）
2006　京都府美術工芸新鋭選抜展 ／審査委員推奨作品受賞（京都文化博物館）　　　第52回全関西美術展　全関西美術展賞第１席（大阪市立美術館）

個展
1992　ギャラリーすずき・京都
1993　ギャラリーはねうさぎ・京都
1994　大和ギャラリー・大阪
1998　アーズローカス・京都
ギャラリーすずき・京都
1999　ギャラリーすずき・京都
2000　[原点の赤］ギャラリーすずき・京都
2001　[Snow White-存在の間-]ギャラリーすずき・京都
2002 ［桜］Kyoto Art Map /ギャラリーすずき・京都
2006 「関係」和田画廊・東京
祇おん小西・京都
2007 「櫻」和田画廊・東京

グループ展
1994 ～1995　大和ギャラリー・大阪
1996　ギャラリーぶらんしゅ・大阪
ギャラリーすずき・京都 （'97、'00、'02、'03出品）
1997　ギャラリー石彫・兵庫 （'98、'00、'01出品）
2000　ギャラリー楓・大阪
2002　比良美術館・滋賀
2002～2007　[心に響く小品展]ギャラリーひるげーと・京都
2003　[session4]ギャラリー青羅・東京銀座
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (38)

シリーズ企画 : 「つなぐ みつめて いのち」　パート III 竹股 桂 展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-6-24 16:53:18 (3750 ヒット)

2007年7月17日(火)～29日(日)
12:00～19:00(最終日は17:00まで)
２３日(月)休廊

………………………………………………
庭のあるギャラリー揺の空間は、季節や天候、時間によってさまざまな表情を見せます。
シリーズがスタートした３月より木々の葉が繁り、緑も色濃くなってきました。
新たな生命の芽生えも見られます。
シリーズ第３弾は、１４年ぶりの京都での個展となる竹股 桂氏の展示です。
真夏の揺の空間にどんな世界が展開するか、どうぞごらんください。

三橋 実
………………………………………………
………………………………………………
竹股 桂

１９５３年　新潟県に生まれる
１９７６年　金沢美術工芸大学美術学科彫刻科卒業

個展
１９８７年　ギャラリー山口・東京
１９８８年　石房 有無・奈良市
不二画廊・大阪市
１９８９年　石房 有無・クラフトハウス キ・ヨ・ノ・奈良市
不二画廊・大阪市
１９９１年　不二画廊・大阪市
１９９３年　小西ギャラリー・京都
１９９４年　AD&Aギャラリー・大阪市
１９９７年　Artist Center GRAVE・Victoriavill Quebec Canada
１９９８年　AD&Aギャラリー・P-room・大阪市
１９９９年　月 吠・奈良市
２０００年　Ladsギャラリー・大阪市
２００１年　奈良倶楽部・奈良市
２００３年　楓画廊・新潟市
ギャラリーあをがき・奈良市
２００５年　楓画廊・新潟市
新潟市豊栄地区公民館・新潟市
２００６年　北浜画廊・大阪市

グループ展
１９７９年　金沢彫刻展・石川県金沢市
～'８７年　「垂線」彫刻展・名古屋市立博物館、神奈川県民ホールほか
～'９７年　自由美術展・東京都美術館
１９８１年　彫刻三人展（with池谷 務、高岡 典雄）・神奈川県民ホール
自由美術彫刻七人展・日本画廊・東京都
１９８４年　Nous展・新潟デザイン専門学校・新潟市
～'８８年　大宮野外彫刻展・大宮市民の森・埼玉県さいたま市
１９５８年　奈良現在展・西田画廊・奈良市
国際Impact Art Festival・京都市美術館
１９８７年　Stones Henge(ストーン・ヘンゲ)展・石房 有無・奈良市
メモリアルアート大野屋野外彫刻展・埼玉県・入間市
国際Impact Art Festival・京都市美術館
石にAKARI展・石房 有無・奈良市
～'００年　「ENA１２分の１」展・布忍神社・大阪府松原市
１９８８年　石の椅子展・石房 有無・奈良市
１９８９年　彫刻家によるドローイング展・石房 有無・奈良市
14th International Tapestry Biennale Lausanne Switzerland
１９９０年　手の上の造形(1000c.c.Object)展・石房 有無・奈良市
奈良の作家達展・ABCギャラリー(西田画廊企画)・大阪市
１９９１年　国際"掌中"新立体造形展・名古屋市(優秀賞)
ストーンミュージアムオープン記念石彫展・香川県日牟礼町
「Midnight Light Show at 臥待楼」・奈良市
紙展・不二画廊・大阪市
１９９２年　15th International Contemporary Textile Art Lausanne Switzerland
「Textile Miniature Work 18x18」展ギャラリーGallery・京都市
～'９５年,'９７年　「Miniartextil Como」展Como,Italy
１９９４年　高柳の里彫刻造形展「但馬・理想の都の祭典」参加・兵庫県高柳
１９９５年　Spirit-Factory展　国際奈良学セミナーハウス世尊院・奈良市
１９９６年　紙展・不二画廊・大阪市
70Box展　わたくし美術館・大分県由布院
International Triennale of Mini-Textiles Angers, France
～'９６年 月 吠の現代美術展　月 吠・奈良市
２００１年　Tras-Emortion Art Movement　冬柏Art Center・釜山 韓国
～'０２年　福井市立美術館・福井市
２００６年　「彫刻の力」展 海岸通りギャラリーCASO・大阪
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (1253)

展覧会情報 : 青木義雄展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-5-2 22:42:10 (4357 ヒット)

木工芸
2007年5月29日(火)～6月3日(日)
12:00～19:00(最終日17:00)

………………………………………………
無垢の木の素材感を生かしつつ、
造形性と実用性の調和のとれた
ものづくりをめざしています。

風樹工舎 主宰　青木義雄
………………………………………………
………………………………………………
青木義雄プロフィール

１９５８年　滋賀県草津市生まれ
１９７９年　滋賀大学教育学部で絵画,立体,工芸を受講
１９９６年　滋賀県高島郡の堂宮大工の下で刃物研ぎを研修
１９９７年　建田良策氏に師事(樹輪舎・京都)
１９９９年　個展　木工芸・絵画(滋賀県内ギャラリー)
２０００年　木工教室・作品展示ホールを開設(自宅工房)
２００１年　木工芸の作品展(ギャラリー湖水・滋賀)２００２年も開催
２００２年　工芸四人展(自宅工房・滋賀)２００３年も開催
以後「月の船展」と称して毎年開催
２００３年　個展(ぎゃらりい古今・滋賀)
２００４年　「木・紙・土三人展」に出品(ギャラリー小川・東京)
全国木のクラフトコンペに入選
２００５年　個展 木工芸(ルームブナ・滋賀)
２００６年　個展 木工芸(アートスペース東山・京都)
「草津ものづくり工房」の活動に参加
２００７年　個展 木工芸(ギャラリー揺・京都)
展示会に出品(近鉄百貨店・滋賀)予定
その他、滋賀県展、滋賀県造形集団造形展などに出品
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (1058)

シリーズ企画 : 「つなぐ みつめて いのち」　パート II 大西 真輝 展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-4-25 20:42:39 (3069 ヒット)

2007年5月15日(火)～27日(日)
12:00～19:00(最終日は17:00まで)
21(月)休廊

………………………………………………
「生きるとは何か」「死とは何か」。今回のシリーズ企画の
テーマ「いのち」は、根源的かつ深い意味合いを持っています。
と同時に、私たちは常に人間のみならず、さまざまな「いのち」
に囲まれて暮らしていることを考えれば、極めて身近なテーマ
であるともいえます。世代によって「いのち」のとらえ方が違うかもしれません。
シリーズ第２弾は新進作家大西真輝氏の初個展です。ご高覧ください。

三橋 実
………………………………………………
………………………………………………
大西 真輝

1984 京都生まれ
2006 京都精華大学芸術学部テキスタイルデザイン分野卒業
2007 京都精華大学大学院立体造形分野在籍中
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (5318)

シリーズ企画 : 「つなぐ みつめて いのち」　パート I 山本 哲三 展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-2-20 21:32:53 (3200 ヒット)

2007年3月13日(火)～25日(日)

12:00～19:00(最終日は17:00迄)

17日17:30からﾊﾟｰﾃｨｰを開きます。

月曜休廊

………………………………………………
野に咲く一輪の花も、小さな虫達も、生あるものすべては
人間の営みと切り離すことはできません。
かけがえのない「いのち」をみつめ、考えることは即ち
「私たちは何のために生きるのか。死とは何か」という問いにつながります。
今回のシリーズ企画はこの永遠のテーマを5人の作家に
それぞれの作品で表現していただきます。
生命賛歌であったり、未来への警鐘であるかもしれません。
第1回は彫刻家山本哲三氏の展示です。
どうぞご覧ください。

三橋 実
………………………………………………
………………………………………………
山本 哲三

１９４３年　・京都生まれ
１９６７年　・京都市立美術大学彫刻専攻科終了
・国立パリ美術学校に在席（フランス政府給費留学生）
１９７０年　・サンクト・マルガレーテン彫刻シンポジウムに５人の共同制作のメンバーで参加する　（オーストリア）
１９７１年　・ニュールンベルグ都市計画彫刻シンポジウムに７人の共同制作のメンバーで参加する（ドイツ）
１９７２年　・京都府彫刻新人展　（京都府立文化芸術会館）
１９７３年　・日韓現代彫刻展　（兵庫近代美術館）
１９７４年　・個展　（ギャルリー　観・京都市）
・第四回現代彫刻展　（神戸須磨離宮公園）
１９７６年　・第十二回現代美術展　佳作賞（東京都美術館・京都市立美術館）
・個展　（朝日画廊・京都市）
１９７７年　・第七回現代日本彫刻展　（常盤公園・宇部市）
１９７８年　・個展　（靭ギャラリー・大阪市）
１９７９年　・個展　（村松画廊・東京都）
・京都彫刻家連盟展　（京都府立文化芸術会館）［以後現在も継続］
１９８０年　・個展　（靭ギャラリー・大阪市）
１９８１年　・個展　（番画廊・大阪市）
１９８３年　・個展　（番画廊・大阪市）
・モニュメント「希望の風」制作　（伊丹小学校・伊丹市）
１９８９年　・個展　（ＡＤ＆Ａギャラリー・大阪市）
・かさおか石彫シンポジウムに参加　（北木島・岡山県）
１９９０年　・パークヒルズ田原彫刻シンポジウム（四条畷市・大阪府）
１９９１年　・'９１小豆島国際彫刻シンポジウム　（内海町・香川県）
１９９２年　・個展　（茶屋町画廊・大阪市）
・石の道、いけだ彫刻シンポジウム　（池田市・大阪府）
１９９３年　・個展　（ＡＤ＆Ａレンガ倉ギャラリー・大阪市）
・やしろ、星の彫刻シンポジウム　（社町・兵庫県）
１９９４年　・地球のゴミでアートする展'９４（西宮市、岸和田市、明石市、伊丹市）
・韓・日　現代美術27人展　（コスモス・ギャラリー・ソウル）
・野外彫刻展、彫刻のプロムナード　（けいはんな市民広場・京都府）
１９９６年 ・泉佐野市総合文化ホール・アート計画
「コスミック・バード」「出会いの門柱」を設置（泉佐野市・大阪府）
・島本町ふれあいセンター・アート計画「ハーモニー」「泉」を設置
１９９７年　・橋本佳美展・山本哲三展（ＡＤ＆Ａギャラリー・大阪市）
２０００年　・個展　（ＣＭＭ現代美術観・京都）
２００３年　・京都野外彫刻展「ミズのカミさん＿たき」出品　（京都府立植物園・京都市）
２００４年　・京都野外彫刻展「かぜのカミさん」出品　　　（京都府立植物園・京都市）
２００５年　・個展［おもかるサン］　（ＡＤ＆Ａギャラリー・大阪市）
・韓国国際アートフェア（KIAF）　（コエックス　インディアンホール・ソウル市）
・８人の作家展 inside/outside （０ＡＰ彫刻の小径＆アートコートギャラリー）
２００６年　・Turn to Eastern - Four Artists Network Sculptors Exhibition
（ Cosmos Gallery・Inchoen市/韓国）
２００７年　・個展「つなぐ　みつめて　いのち」ギャラリー／シリーズ企画
（ギャラリー揺・京都市）
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (2289)

シリーズ企画 : 「なぜ私は、ここにいるのか」　『10人のまなざし』展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2007-1-29 22:03:14 (3434 ヒット)

2007年1月23日(火)～24日(日)
12:00～19:00(最終日は17:00まで)月曜休廊

2005年11月から1年間、2人ずつの5回シリーズで
企画した企画展の出品作家による小品展です。
多彩な顔ぶれの10人の作品をどうぞご覧ください。

………………………………………………
北山善夫　　三家俊彦

五十嵐彰雄　　松村晃泰

外礒秀紹　　藤井俊治

塚脇　淳　　久保健史

井田　彪　　宮永甲太郎
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (8676)

シリーズ企画 : 「なぜ私は、ここにいるのか」　パートV　井田 彪×宮永甲太郎

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2006-11-9 22:30:25 (2976 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「なぜ私は、ここにいるのか」
パートV　井田 彪×宮永甲太郎

2006年11月14日(火)～26日(日)
12:00～19:00(最終日は17:00)　月曜定休

………………………………………………
私たしは常に、取り巻く環境の中で家族や友人、
他人とのつながりを求めようと生きています。
この想起作用がなければ「なぜ私がここにいるのか」
との問いは発生しません。だからこそ人は自然や社会に
このことを問い続け、世界と深くかかわろうとしています。

作家それぞれの世界との「つながり」を開示しようと、
昨年11月にスタートしたシリーズ企画の第５弾。
最終回の今回は室内で井田彪氏、庭で宮永甲太郎氏の作品を展示します。
シリーズを締めくくる2人展をどうぞご覧ください。

三橋　実
………………………………………………
………………………………………………
井田　彪

1971　京都彫刻新人展（選抜招待出品75年まで）
1971 京都洋画新人展(選抜招待出品73年まで)
1973　コンテンポラリーフィクス展
1974　ジャパンアートフェスティバル・アメリカ
1977　毎日現代日本美術
1978　アートナウ'78、「面＝空間」展
1982　「素材・空間」展
1983　現代の造形展
1985　「素材・表現」展
1989　鉄による都市彫刻展・受賞
1990　美浜町国際野外彫刻ビエンナーレ・最優秀賞受賞、現代彫刻展
1991　第4回京都美術文化賞受賞
1992　NICAF国際コンテンポラリーアートフェアー
1993　JOINT WORKS　10人展
1994　第14回神戸須磨離宮公園現代彫刻展(招待出品・受賞)、第6回倫雅賞受賞
1997　「物質の表皮」展
1999　「彫刻の地平」展
2001　国際彫刻展・上海
2003　「空間の風景」展
2004　「直感の十字路」展
2006　「なぜ私は、ここにいるのか」展
その他企画展多数出品、企画個展多数開催
………………………………………………
………………………………………………
宮永甲太郎
１９６９　京都市に生まれる、
１９９１　金沢美術工芸大学彫刻科卒業

個展
１９９５　Gallery MOCA(名古屋)
１９９６　Gallery MOCA(名古屋)
１９９８ INAX Gallery(東京都)
２００３　Gallery Space○△□(京都市)
２００４　番画廊(大阪市)
２００５　CASO(大阪市)
Gallery Space○△□(京都市)
２００６　ドラゴン美術館(新潟県)

グループ展
１９８７ 第七回金沢彫刻展
（以降八、九、十、十一回まで出品する。）　　犀川緑地公園等(金沢市)
１９９２　Outdoor Workshop、92
（以降93,94 と参加する。）　　信楽陶芸の森(滋賀県)
１９９４　近作展・17　　国立国際美術館(大阪市)
１９９６　フィールドワーク展　　ギャラリーそわか(京都市)
京を創る　　金戒光明寺(黒谷)(京都市)
ﾌｨﾘｯﾌﾟ ﾓﾘｽｱｰﾄｱﾜｰﾄﾞ ﾌｧｲﾅﾙｾﾚｸｼｮﾝ展　　青山スパイラル(東京都)
京都市新鋭美術選抜展'９６
（以降、98,00,02,05, 出品する。）　　京都市美術館(京都市)
現代陶芸の若き旗手達　　愛知県陶磁資料館(愛知県)
１９９８　机上空間の為のアートワークス展
（以降、98,99,00,04, 出品する。）　　リアスアーク美術館(宮城県)
１９９８　陶芸の現在的造形　　リアスアーク美術館(宮城県)
モルフェ'９８，南勢ゾーン　　相賀小学校(三重県)
１９９９　京を創る　　京都女子大学(京都市)
代官山インスタレーションドローイング展　　ヒルサイドテラス(東京都)
２０００　佐賀町２０００『希望の光』　　佐賀町エキシビットスペース(東京都)
２００１　京都府美術工芸新鋭選抜展
（以降、05 出品する。）　　京都文化博物館(京都市)
Stey With Art 眺めの良い部屋
期間限定ホ�ル美術館　　Hotel T POINT(大阪市)
２００３　豊田市美術展'０４　　豊田市美術館(豊田市)
２００４　大分アジア彫刻展　　朝倉文男記念館(大分県)
Take Art Collection 2004 at MAISON MOE'　　青山スパイラル(東京都)
２００５　美・京都　　ギャラリーなかむ(京都市)
洞爺湖ビエンナーレ　　洞爺湖(北海道)
２００６　彫刻の力　　CASO(大阪市)
越後妻有トリエンナーレ　　ドラゴン美術館(新潟県)
「私はなぜここにいるのか」　　ギャラリー揺(京都市)
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (6434)

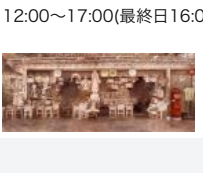
展覧会情報 : 相澤寿美子展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2006-11-8 22:39:38 (3414 ヒット)

Waiting for post

ポストに届く山の風
ポストにひびく街の音
「ありがと～」と淡海の音

2006年10月31日(火)～11月5日(日)
12:00～17:00(最終日16:00)



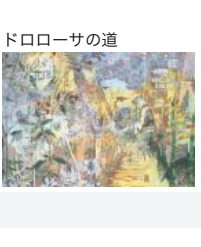
続き... | トラックバック・コメント (2207)

展覧会情報 : 横江智恵子展

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2006-11-8 22:04:35 (6751 ヒット)

ベテスダの花
2006年10月17日(火)～21(土)
11:00am～6:00pm

ドロローサの道



続き... | トラックバック・コメント (2177)

シリーズ企画 : 「なぜ私は、ここにいるのか」　パートIV　塚脇　淳×久保健史

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2006-8-22 16:07:35 (2718 ヒット)

シリーズ企画：「なぜ私は、ここにいるのか」
パートIV　塚脇　淳×久保健史

2006.9.19(火)～10.1(日)12:00～19:00（最終日は17:00）
月曜休廊

………………………………………………
私たちは常に、取り巻く環境の中で家族や友人、
他人とのつながりを求めようと生きています。
この想起作用がなければ「なぜ私がここにいるのか」
との問いは発生しません。だからこそ人は自然や社会に
このことを問い続け、世界と深くかかわろうとしています。

作家それぞれの世界との「つながり」を開示しようと、
昨年11月にスタートしたシリーズ企画の第4弾。
今回は庭で塚脇淳氏、室内で久保健史氏の作品を展示します。
初秋の揺の空間にどんな世界が見えてくるのか、
どうぞご覧ください。

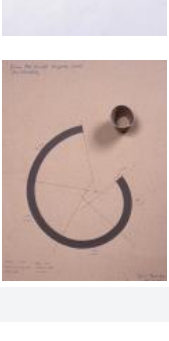
三橋　実
………………………………………………
………………………………………………
塚脇　淳

1952　京都府生まれ
1977 京都市立芸術大学美術学部卒業
1979　京都市立芸術大学専攻科彫刻専攻修了

■作品発表歴（抜粋）
1980　スチュワート・ジョセフと二人展（アメリカンセンター・京都）
1983　第5回　エンバ賞美術展　優秀賞受賞（エンバ中国美術館）
第16回　現代日本美術展（東京都美術館）
第10回　現代日本彫刻展（宇部野外彫刻美術館）
1984　アート・ナウ'84（兵庫県立近代美術館）
1986　第1回　三田彫刻コンペティション大賞受賞
1987　第3回　本郷新賞受賞、札幌彫刻美術館で個展
1988　文部省在外研究員（Cornell Univ.U.S.A）～89
1989　大月現代アート展（神戸）
1992　兵庫の美術家（兵庫県立近代美術館）
第13回　須磨離宮現代彫刻展　エスキース展
1994　芸術祭典・京「京を創る」三栖閘門プロジェクト
1995　びわこ現代造形展（滋賀県大津市）
個展ビッグノーズギャラリー（京都市）
1997　大堰川野外彫刻展（京都府八木町）
兵庫県芸術奨励賞
1998　アーティストインレジデンス（BEMIS Center for Contemporary Arts,USA）
第2回大堰川野外彫刻展（京都府八木町）
住吉石彫シンポジウム（神戸市灘区）
1999　個展（Temporary Gallery，神戸大学）
第6回六甲アイランド野外展（神戸市）
個展（岡之山美術館，西脇市）
2000　オープンスタジオ展（CAP HOUSE，神戸市）
インターナショナルアートフェスティバル（Pusan，KOREA）
個展（KCAL，尼崎市）
2001　鉄はたたくものだったプロジェクト（CAP HOUSE，神戸市）
朝来2001　野外彫刻展　優秀賞（兵庫県朝来町）
2002　プサンビエンナーレ スカルプチャープロジェクト(Pusan, KOREA)
2003 個展（西宮大谷記念美術館）
越後妻有アートトリエンナーレ
2004 直感の十字路（茶屋町画廊,大阪）
2005　自覚する鉄「NEW　HEAVY」展（CAP HOUSE,神戸）
個展（ギャラリーけやき,兵庫三田）
8人の作家展（ART COURT Gallery,大阪）
………………………………………………
………………………………………………
久保健史

1974 兵庫県生まれ
1997 宝塚造形芸術大学卒業
2000 第5回石のさとフェスティバル石の彫刻コンクール展最高賞（高松市）
第5回石の彫刻国際シンポジウム招待（庵治町）
2001 第1回世界陶磁器EXPO京畿道・記念公園コンペティション入選・設置（韓国）
2002 第7回KAJIMA彫刻コンクールKAJIMA銀賞受賞（東京）
2003 第1回GOAC2002最優秀作品・大賞受賞（群馬）
BRANCUSIANA（ルーマニア）
2004 nature workship(神戸)
2005 無形なるものたち展（神戸）
2006 イタリア料理と彫刻家（淡路島）
………………………………………………

upper Photo: Kubo Takeshi
lower Photo: Tsukawaki Jyun



続き... | トラックバック・コメント (12049)

シリーズ企画 : 「なぜ私は、ここにいるのか」　パートIII　外礒秀紹×藤井俊治

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2006-5-13 21:12:29 (2704 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「なぜ私は、ここにいるのか」
パートIII　外礒秀紹×藤井俊治

2006年5月16日(火)～28日(日)　(最終日は17:00迄)
休廊日　20日（月）

………………………………………………
私たちは常に、取り巻く環境の中で家族や友人、
他人とのつながりを求めようと生きています。
この想起作用がなければ「なぜ私がここにいるのか」
との問いは発生しません。だからこそ人は自然や社会に
このことを問い続け、世界と深くかかわろうとしています。

作家それぞれの世界との「つながり」を開示しよう
と、昨年11月にスタートしたシリーズ企画の第3弾。
今回は庭で外礒秀紹氏が立体作品、室内で藤井俊治氏
が平面作品を展示します。陽春の揺の空間に展開する
アートの世界をどうぞご覧ください。

三橋　実
………………………………………………
………………………………………………
外礒秀紹

1963　福岡に生まれる
1988　京都精華大学 美術学部 立体造形 卒
1989　鉄による都市彫刻大賞展[野外彫刻賞](東海市)
1994　第5回日本現代彫刻展[優秀賞](土岐市)
1996　花の器ビエンナーレ展[審査員特別賞]（草月美術館 東京）
1997　第4回倉敷まちかどの彫刻展[大賞](倉敷市)
1998　第15回神戸須磨離宮公園現代彫刻展[兵庫県立近代美術館賞](神戸市)
1999　第18回現代日本彫刻展(宇部市)
2006　神戸空港彫刻コンクール[大賞](神戸市)
ほか多数受賞
………………………………………………
………………………………………………
藤井俊治

1983　滋賀に生まれる
2002　成安造形大学造形美術家洋画クラス入学
2006　現在、同大学研究生

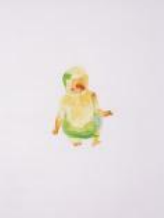
Group Exhibitions
2004　2004京展（京都市美術館 6月8日～6月24日 京都）
シェル美術賞2004（代官山ヒルサイドフォーラム 11月24日～12月5日 東京）
2005　第９回成安造形大学造形美術科進級展2005（滋賀県立近代美術館 1月25日～2月6日 滋賀）
成安造形大学造形美術科3年生選抜展2005（成安造形大学 2月18日～19日 滋賀）
群馬青年ビエンナーレ'05（群馬県立近代美術館 6月11日～7月18日 群馬）
アートサイト京都2005 成安造形大学選抜展（京都文化博物館 7月27日～7月31日 京都）
ART UNIV.2005 芸術系大学作品展2005（キャンパスプラザ京都 10月4日～10月23日 京都）
2006　成安造形大学第10回卒業制作展 SEIAN2006（京都市美術館 1月24日～29日 京都）
湖族の郷アートプロジェクト-人と人をHEARTでつなぐ-（堅田の町 2月20日～26日 滋賀）

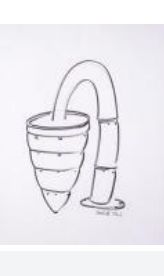
Solo Exhibitions
2006　カフェヌフ（1月10日～30日 京都）
ギャラリー揺（5月 京都）

Awards and Prizes
2004　京展　入選
2004　シェル美術賞2004　グランプリ
2005　群馬青年ビエンナーレ'05　入選

Awards and Prizes
2004　京展　入選
2004　シェル美術賞2004　グランプリ
2005　群馬青年ビエンナーレ'05　入選
………………………………………………

upper Photo:Fujii Toshiharu
lower hpoto:Tonoiso Hideaki





続き... | トラックバック・コメント (4814)

シリーズ企画 : 「なぜ私は、ここにいるのか」　パートII　五十嵐彰雄×松村晃泰

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2006-2-7 20:37:10 (4258 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「なぜ私はここにいるのか」
パートII　五十嵐彰雄×松村晃泰

2006年2月14日（火）～26日（日）１２：００～１９：００（最終日は１７：００）
休廊日　20日（月）

………………………………………………
私たちは常に、取り巻く環境の中で家族や友人、
他人とのつながりを求めようと生きています。
この想起作用がなければ「なぜ私がここにいるのか」
との問いは発生しません。だからこそ人は自然や社会に
このことを問い続け、世界と深くかかわろうとしています。

作家それぞれの世界との「つながり」を開示しよう
と、昨年11月にスタートしたシリーズ企画の第2弾。
今回は室内で五十嵐彰雄氏が平面作品、庭で松村晃泰氏
が立体作品を展示します。冬の揺の空間がどんな表情を
みせるか、どうぞご覧ください。

三橋　実
………………………………………………
………………………………………………
五十嵐彰雄

１９３８　　福井県に生まれる
１９６０　　福井大学卒業
福井県在住
個展

１９９２　　いづみ画廊　福井
１９９４　　福井県立美術館('95,'96,'97,'98)自主企画
１９９５　　ギャラリー360°東京
１９９６　　ベイスギャラリー　東京
１９９８　　ギャラリー１７　金沢
２００１　　海岸通ギャラリーＣＡＳＯ＋ギャラリーヤマグチ　大阪
２００２　　鯖江市資料館　鯖江/ギャラリーＧ２　福井
２００４　　GALLERY TERASHITA　東京
２００５　　GALLERY TERASHITA　one series 4 東京

主な出品展

１９９２　　筆あとの誘惑　モネ・栖鳳から現代まで　京都市美術館
１９９６　　日本の現代美術５０人展ー２１世紀への予感　ナビオ美術館　大阪
第6回富山国際現代美術展　富山県立近代美術館
絵画の構造・一色一形態　文房堂ギャラリー　東京
１９９８　　「現代日本絵画の展望展」東京ステーションギャラリー
２００１　　「アート・ドキュメント2001　福井の美術ナウー森から町へ」
金津創作の森・アートコア
………………………………………………
………………………………………………
松村 晃泰 マツムラ テルヤス

1974　　京都市に生まれる
1999　　大阪芸術大学大学院（彫刻）修了

彫刻シンポジウム

1997　　「未来に生きるMOAI計画」 [岡山市 犬島]
1998　　アーチスツ・キャンプ・イン・カサマ '98 [茨城県 笠間市]
2001　　International Symposium of stone Sculpture-Goa 2001
[インド ゴア]
2002　　Workshop and exhibition Project "New" [大韓民国 ソウル]
2003　　アーティストキャンプ 河南 2003 Project "New" [大阪府 河南町]
2005　　Workshop and exhibition Project "New" 3rd [大韓民国 ソウル]

野外彫刻展

1999　　「TAKIHATA ART WALKING」[大阪府 河内長野市]
2000　　第2回　山・里に出た美術展 [岡山県 熊山町]
2001　　風の街の造形展2001 [兵庫県 神戸市]
2001　　日向現代彫刻展2001 (2002) [宮崎県 日向市]

主なグループ展

2001　　「アートの箱舟 ソウルへ」[ソウル インサギャラリー]
2002　　宮崎国際現代彫刻空港展2002 (以降毎年) [宮崎県 宮崎市]
Disguise + Disclosure展 [ソウル GALLERY ARTINUS]
2003　　第1回「Ruff」展 (以降2.3回展) [大阪府 藤の里保育園]
2004　　総社宮へみにこん？祭 [岡山県 熊山町]
第二回古民家まるごとアートまるかじり展 [吹田市 まちづくりセンター「浜屋敷」]
2005　　BEYOND THE BORDER –猫から虎へ- [大阪府 茶屋町画廊]
現代彫刻展 [吹田市 メイシアター]
8人の作家 inside and outside [大阪府 アートコートギャラリー]
そこにあるかたち [岡山県 ギャラリーしをり]

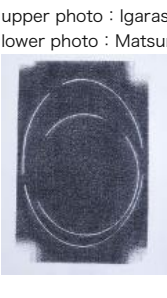
個展

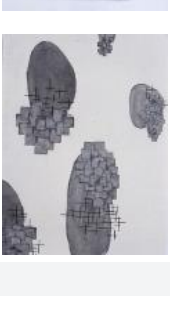
2003　　TERUYASU MATSUMURA EXHIBITION [ソウル Tanto Tanto GALLERY]

受賞等

1999　　宇治文化センター彫刻展 思文閣賞 [京都府 宇治市]
2000　　第5回 石のさとフェスティバル 入選 [香川県 庵治町]
第50回 西宮市展 西宮市展西宮芸術文化協会賞 [兵庫県 西宮市]
国際丹南アートフェスティバル2000 優秀賞 [福井県 武生市]
2002　　倉敷まちかど彫刻展 入選 [岡山県 倉敷市]
………………………………………………

upper photo：Igarashi Akio
lower photo：Matsumura Teruyashu





続き... | トラックバック・コメント (9848)

イベント : お茶会　初釜

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2006-1-4 22:01:39 (2135 ヒット)

新しい年を迎え、この一年の幸せを願ってギャラリー揺お茶会を開きます。
版画家・木村秀樹先生のお点前と会場の設えを楽しみにしております。
どうぞ新春のお茶会・初釜にお出かけください。お待ちしています。

ところ　ギャラリー揺
とき　　2006年1月28日（土）
11:00～
13:30～
15:00～（受付終了）
16:30～（予備席　人数の都合で中止）
一席約10人、約1時間　　参加料　お一人￥１０００－
参加ご希望の方はギャラリー揺までご連絡ください。

続き... | トラックバック・コメント (8453)

イベント : ギャラリートーク

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2005-11-30 21:16:35 (2333 ヒット)

シリーズ企画「なぜ私は、ここにいるのか」パートＩの出品作家

北山善夫氏と三家俊彦氏を囲んで、ギャラリートークを開きます。

当日は北山氏の壁面作品と庭の三家氏の作品をご覧いただけます。

2005年12月11日(日)　10:30～14::00　15人限定

参加費　昼食付(三友居 弁当)　一人￥４５００－

参加ご希望の方はギャラリー揺までご連絡ください。

続き... | トラックバック・コメント (5783)

シリーズ企画 : 「なぜ私は、ここにいるのか」　パートI　北山善夫×三家俊彦

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2005-10-16 18:24:21 (3564 ヒット)

ギャラリー揺　シリーズ企画「なぜ私は、ここにいるのか」
パートI　北山善夫×三家俊彦

11月22日(火)～12月4日(日) 12:00～19:00（最終日は17:00迄）

26日 17:30からパーティーを開きます。

休廊日：11月28日(月)

………………………………………………
「なぜ私は、ここにいるのか」
パートI　北山善夫×三家俊彦

私たちは常に、取り巻く環境の中で家族や友人、
他人とのつながりを求めようと生きています。
この想起作用がなければ「なぜ私がここにいるのか」
との問いは発生しません。だからこそ人は自然や社会に
このことを問い続け、世界と深くかかわろうとしています。

今回の企画展ではジャンルや年代にとらわれず、
作家それぞれの世界との「つながり」を開示しようとするものです。
室内と庭を使って2人ずつの5回シリーズ。
第一回は北山善夫と三家俊彦の展示です。
ご期待ください。

三橋　実
………………………………………………
展覧会終了後も庭に設置の三家俊彦作品は12月25日迄展示しています。
ご覧になりたい方はギャラリー揺までご連絡ください。

………………………………………………
北山善夫

1948 滋賀県八日市市に生まれる

1983 「第２回バングラデシュ・ビエンナーレ展」ゴールドメダル賞受賞
1985 USIS（アメリカ国務省）の招待により渡米
1992 タカシマヤ文化基金　第２回新鋭作家奨励賞受賞
1992 日本芸術大賞受賞
1992 滋賀県文化奨励賞受賞
1999 「現代絵画の展望展」東京ステーションギャラリー賞受賞

展覧会
1979 「京都アンデパンダン展」京都市美術館
1982 「第４０回ヴェネツァ・ビエンナーレ」イタリア
1982 10月「カーネギー・インターナショナル展」カーネギー・インスティチュート／ピッツバーグ（アメリカ）、シアトル美術館（アメリカ）、アート・ギャラリー・オブ・ウエスタン・オーストラリア（パース）、ナショナル・ギャラリー・オブ・ニューサウス・ウェールズ／シカゴ（アメリカ）に巡回
1992 「カッセル国際美術展・他文化との遭遇展」
1997 「北山善夫展—絵画の誕生—」INAXギャラリー／東京
1999 「和紙のかたち展　現代美術の手法」練馬区立美術館／東京
1999 8月 「森に生きるかたち　彫刻の森美術館開館３０周年記念展」彫刻の森美術館
1999 11月 「図　絵画　北山善夫」豊田市美術館／愛知
1999 12月 「現代日本絵画の展望展」東京ステーションギャラリー
2000 「流出・産出・死出　北山善夫展」名古屋芸術大学ギャラリーBE／愛知
2004 7月 「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ2000」越後妻有６市町村／新潟
2004 9月「その日に—5年後、77年後　震災・記憶・芸術」展　川崎市岡本太郎美術館
2004 12月「メタモルフォシス　アナライジング　オブ　ペーパー」プサン・メトロポリタン・アート・ミュージアム／韓国
2001 8月 「いのちを考える　北山善夫と中学生たち」伊丹市立美術館／兵庫県
2002 7月「コレクションより「歴史画」として：日本画、洋画、現代画を越境する試み展」
2004 キュレーション＝北山善夫（美術家）豊田市美術館
2004 「不思議いっぱい　紙のワンダーランド」群馬県立館林美術館
2003 8月 「 At This School、明倫」北山善夫　京都芸術センター／京都
2004 10月 「北山善夫・中ハシ克シゲ At This School、成安」
2004 成安造形大学ギャラリーアートサイト／大津市
2004 11月 「北山善夫展 eternal　コモンズフェスタ2003」應典院／大阪
2004 1月　「第11回　バングラディシュ・ビエンナーレ展」／ダッカ
2004 2月 北山善夫展—絵画の言挙げ—　INAXギャラリー/東京
2005 3月「福岡道夫×北山善夫展　死スルコト　愛スルコト」　ほそかわ/大阪

主な作品収蔵先
草月美術館、国立国際美術館（大阪）、愛知芸術文化センター、広島市現代美術館、豊田市美術館（愛知）、他
………………………………………………
………………………………………………
三家　俊彦

1979 大阪市生まれ
2004 成安造形大学 立体造形 卒業

主な展覧会

2002 7時28分 体温36.8℃展（同時代ギャラリー）
2003 Artist In Residence In SUMISO（SUMISO）
2003 見えない庭（寝屋川市テナントビル）
2004 成安造形大学新鋭選抜展（京都市文化博物館）
………………………………………………

………………………………………………
パートI
北山善夫×三家俊彦　2005年11月22日～12月4日

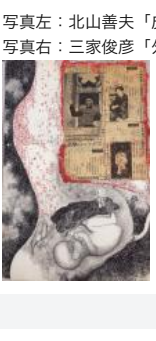
パートII
五十嵐彰雄×松村晃泰　2006年2月14日～2月26日

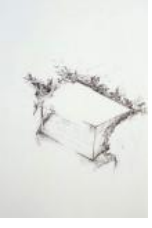
パートIII
外礒秀昭×藤井俊治　2006年5月16日～5月28日

パートIV
塚脇淳×久保健史　2006年9月19日～10月1日

パートV
井田彪×宮永甲太郎　2006年11月14日～11月26日
………………………………………………

写真左：北山善夫「皮膚は我々を拘束しているのだろうか、それとも我々を抱きしめているのだろうか。」
写真右：三家俊彦「外部と距離について」





続き... | トラックバック・コメント (7426)

展覧会情報 : たゆとう　『きだて槙江染織作品展』

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2005-10-16 17:48:33 (3942 ヒット)

たゆとう　『きだて槙江染織作品展』

11月1日(火)～11月10日(木) 12:00～19:00（最終日は17:00迄）

休廊日：11月7日(月)

………………………………………………
たゆとう

木漏れ日、せせらぎ、
響き渡るキツツキのドラミング
留まることのない一瞬、一瞬
たゆとうものたち、
たゆとう時間
立ちたいのはここ。

そんな密やかな一瞬を切り取って
お届けしたいのです。

きだて槙江
………………………………………………
………………………………………………
1946　山口県柳井市生まれ
1980　独学で草木染と糸紡ぎを始める
1984　工房大きな木をi飯森よしえ氏と立ち上げる
1985　工房大きな木二人展（西武百貨店　滋賀）
1986　工房大きな木二人展（一輪館　東京）
1987　染織教室を始める　以後毎年教室展
1994　工房大きな木10周年記念展（吉祥堂　京都）
1996　独立し冬青工房を立ち上げる　以後毎年教室展
中野亘氏と二人展（カサアルバ　新潟）
1997　小林浩子氏と二人展（クレエ　京都）　2000も同二人展
2001　大塚トモ子氏と二人展（あそびＫＯＫＯＲＯ　京都）
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (8502)

展覧会情報 : 『月ニ架ケル』ー揺の空間と北尾博史作品ー

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2005-9-14 11:49:30 (2584 ヒット)

ギャラリー揺　オープン展 『月ニ架ケル』 揺の空間と北尾博史作品

9月18日(日)～10月2日(日) 12:00～19:00

夜間延長：9月23日(金・祝)～25日(日)21:00まで
休廊日：9月20日(火)、26日(月)

北尾博史作品についてはギャラリータフにお問い合わせ下さい。

………………………………………………
北尾博史　KITAO HIROSHI

1967 京都に生まれる
1988 京都芸術短期大学卒業
1989-90 アトリエ　セラミック陶芸研修（ローザンヌ・スイス）
1990-93 ジュネーブ州立美術学校彫刻科卒業（ジュネーブ・スイス）

1986から個展・グループ展等で活躍中

パブリックコレクション／京都文化博物館、アサヒビール大山崎山荘美術館、その他
………………………………………………

続き... | トラックバック・コメント (5757)

展覧会情報 : ご挨拶

投稿者： Yuragi 投稿日時： 2005-9-14 11:42:35 (3397 ヒット)

自然環境に恵まれた銀閣寺・哲学の道近くに庭のあるギャラリーを開設します。
光と影の中で草花や木々が季節の風に揺れる時間を大切にしながら、
アートと向き合う空間です。
オープン初日は中秋の名月。
感性豊かな北尾博史氏の月や星をテーマにした作品を展示します。
鋭さの中にも楽しい遊び心も見せる北尾氏の造形作品と
揺らぎの空間をどうぞご覧下さい。

ギャラリー揺
三橋 実

続き... | トラックバック・コメント (4531)

Copyright (c) 2005 Gallery Yuragi. All rights reserved. | Design by d-uk
Powered by XOOPS 2.0.12 JP (c) 2001-2005 The XOOPS Project | Theme Design by artNOMAD